

「30年後の植物科学」改め「30年後に知る、さらに100年後の植物科学」

「グリーンマン (上)」 芦荻基行

「ねえ、今朝の新聞よんだ？」

「いや、まだ」

「例の事件について植物学会のこと載ってたよ。切り抜き持ってきた。ほら」

2050年10月〇日、〇〇新聞

「2050年も終盤にさしかかった10月、今年最大、いや今世紀前半で最もショッキングなニュースが飛び込んできた。そうグリーンマンの登場である。

全身緑色した4名の人間が突如日本にあらわれ、世界中に衝撃が走ったのである。連日ニュースで取り扱われているので皆の知るところであるが、当初、宇宙人の襲撃との噂が流れるなかで徐々にその実体が明らかになりつつある。なんと彼らは日本語を話し、自分達が2150年から来た日本人だと主張していて、どうやってこの時代に来たかはまだ謎だが、時空を移動する途中迷い込んだらしい。現在、政府によって安全が確保され、未来から来た彼らの持つテクノロジーに各省庁は色めきたっている。各国からの支援という名の駆け引きが始まっており、政府関係者からは「グリーンマン」が日本人で日本に現れたことはこの上ないラッキーだとの声も聞こえてくる。

彼らが何故緑色をしているのか、植物科学テクノロジーによる可能性があり、政府はこの件において、日本植物学会への協力を要請した。日本植物学会会員数名がグリーンマンの1人と接見したとの情報が政府筋の話として漏れ聞こえてきたのでいち早く紹介したい。

グリーンマンの緑色であるが、これは日本の植物研究者が開発した人工特殊光合成によるものらしく、動物実験を経て、いち早く人間に導入したらしい。彼らはこのテクノロジーのお陰で、二酸化炭素と水と光で活動エネルギーの約半分をまかなえるらしく、21世紀に人類が懸念していた食料問題は起こっていないとのことである。さらに、現在ではプロモーターなる遺伝子の発現を変化させることで、より強力な人体光合成を行う個体も出現しているとのことだが、当然人肌はより濃い緑色らしく、より濃い緑の男性は女性の憧れの的だとのことだ。さらに、グリーンマンの登場で21世紀に懸念された地球温暖化問題も解消されたとのことである。また、この技術のお陰で戦争が激減し平和が保たれているようだ。世界の勢力図が大きく変わり、植物科学をリードし平和利用する日本は世界から尊敬を集めているらしい。この情報を得て政府は植物科学研究に多額の予算をつけるとの声明を発表した。」

「植物学会やるね！」

「俺、この研究フィールド選んで正解だったよ！」

「で、この人達未来へ帰すの？」

「まさか、まず植物学会の会員になってもらわなきゃね」